

社会資本総合整備計画

〔鹿児島市における機能性の高いまちづくり〕

事後評価シート

平成29年12月

(鹿児島県 鹿児島市)

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29 年12月

計画の名称	鹿児島市における機能性の高いまちづくり									
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)	交付対象	鹿児島市							
計画の目標	土地区画整理事業などを実施し良好な市街地環境の形成を行い、個性と魅力あるまちづくりを推進する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	本市の平成33年度における将来推計人口は平成24年度に比べ、約11,000人減少する(約2%減)ことが予想されているが(第五次総合計画より)、今計画で個性と魅力あるまちづくりを推進することで、本事業実施区域内(周辺地区を含む)の居住人口を164,043人(H24)から164,000人(H29)に維持することを目標とする。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値						
			当初現況値 (H24末)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	備考				
			164,043人	-	164,000人					
全体事業費	合計 (A+B+C)	5,943 百万円	A	5,284 百万円	B	0 百万円	C	659 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	11.1 %

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・鹿児島市公共事業評価検討委員会(内部)での審議	・平成29年12月
・鹿児島市事業評価監視委員会(外部)での審議	公表の方法
	・ホームページへの掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
A-1	都市再生	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	宇宿中間地区都市再生整備計画事業	区画整理、道路等 A=526.5ha	鹿児島市						423		
A-2	都市再生	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	吉野地区都市再生整備計画事業	区画整理、公園等 A=114.1ha	鹿児島市						3,107		
A-3	都市再生	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	谷山第二地区都市再生整備計画事業	区画整理、公園 A=72.9ha	鹿児島市						998		
A-4	都市再生	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	原良地区都市再生整備計画事業	区画整理、道路、公園 A=666.3ha	鹿児島市						431		
A-5	都再区画	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	谷山第三地区土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=34.9ha	鹿児島市						42		
A-6	都再区画	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	谷山第二地区土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=72.9ha	鹿児島市						282		
合計													5,284			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
															0	
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
0																
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
C-1	施設整備	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	交通安全施設整備事業	道路照明・防護柵の設置	鹿児島市						3		
C-2	施設整備	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	北部親子つどいの広場設置事業	子育て支援施設の建設	鹿児島市						196		
C-3	計画・調査	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	住居表示実施事業(吉野地区)	住居表示 A=51.4ha	鹿児島市						6		
C-4	計画・調査	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	住居表示実施事業(谷山第二地区)	住居表示 A=48.9ha	鹿児島市						3		
C-5	事業促進	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	換地先整備事業(谷山第三地区)	公共施設整備支障物件の換地先整備	鹿児島市						0		
C-5	事業促進	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	換地先整備事業(吉野地区)	公共施設整備支障物件の換地先整備	鹿児島市						350		
C-6	計画・調査	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	区画整理事業調査	区画整理事業の調査の実施	鹿児島市						71		
C-7	施設整備	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	緑道整備事業	緑道の整備	鹿児島市						5		
C-8	施設整備	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	吉野公民館整備事業	エレベーターの設置	鹿児島市						25		
合計													659			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	宇宿中間地区都市再生整備計画事業（A-1）とあわせて整備することにより宇宿中間地区における車両交通及び歩行者の安全確保を図る。	
C-2	吉野地区都市再生整備計画事業（A-2）とあわせて施設整備することにより、当地区における子育て中の親とその子供が相互に交流できる環境の充実を図る。	
C-3	吉野地区都市再生整備計画事業（A-2）とあわせて住居表示を行うことで、住民の利便性の向上を図る。	
C-4	谷山第二地区都市再生整備計画事業（A-3）とあわせて住居表示を行うことで、住民の利便性の向上を図る。	
C-5	吉野地区都市再生整備計画事業（A-2）とあわせて公共施設整備の支障となる物件の換地先を整備することで、公共施設整備を促進し、安全な市街地の形成を図る。	
C-6	吉野地区都市再生整備計画事業（A-2）周辺地区の区画整理事業調査を行い、事業化の促進を図る。	
C-7	吉野地区都市再生整備計画事業（A-2）とあわせて施設整備することにより都市機能の充実を図る。	
C-8	吉野地区都市再生整備計画事業（A-2）とあわせて施設整備することにより都市機能の充実を図る。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>土地区画整理事業や子育て支援施設の設置などにより、良好な市街地環境が形成され、一定エリアにおいて居住人口を維持することができた。</p> <p>[補足：個性と魅力あるまちづくりについて] 各都市再生整備計画事業の区域においては、土地区画整理事業の推進により、良好な住環境の形成と宅地の利用増進が図られるとともに緊急車両の通行が可能となり市民の安心・安全が確保されるなどの効果がみられたほか、それぞれ以下のような効果が発現し、個性と魅力あるまちづくりが推進された。</p> <p>(宇宿中間地区) ・急傾斜面の法面整備や脇田川の河川改修を実施し、防災性が向上。 ・都市計画道路宇宿広木線の供用開始により、都心部へのアクセスが向上。 ・公園と一体となった親水護岸の設置により、市民が水や生き物とふれあえる空間を創出。</p> <p>(吉野地区) ・商業施設や医療施設等の立地が進み、市民生活の利便性が向上。 ・北部親子つどいの広場整備により、地域の子育て支援機能が充実。 ・吉野公民館のエレベーター設置により、施設の利便性が向上。</p> <p>(谷山第二地区) ・県農業試験場跡地に開陽高校や盲学校が開校するなど、文教施設が集積。 ・南部親子つどいの広場整備により、地域の子育て支援機能が充実。 ・土地区画整理事業と併せて木之下川の河川改修を実施し、防災性が向上。</p> <p>(原良地区) ・市道永吉護国神社線の歩道や望岳公園のトイレ等をバリアフリー化し、利便性と安全性が向上。 ・土地区画整理事業により文教市街地の狭隘な道路を解消し、児童や学生が安心して通学できる環境を確保。</p>			
II 定量的指標の 達成状況	本事業実施区域内（周辺地区を含む）の居住人口の維持	最終目標値	164,000人	目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理事業などの推進により、個性と魅力あるまちづくりが推進され、定住意識の向上が図られたことで、居住人口が増加したと考えられる。
		実績値	167,361人 (H29.9.1現在)		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
今後も引き続き、土地区画整理事業などを推進し、良好な市街地環境の形成を行い、個性と魅力あるまちづくりの推進を図る。					